

# カラスノエンドウとアリ

## <この観察に関連する学校での学習>

- ・小学校の理科(5年)の「植物の受粉、結実」で、植物の花粉の運搬(うんぱん)に、動物(昆虫)が関わっていることを学ぶ。
- ・高校(生物)「個体群」で、アブラムシをめぐる異種間の相互作用について観察し学ぶ。

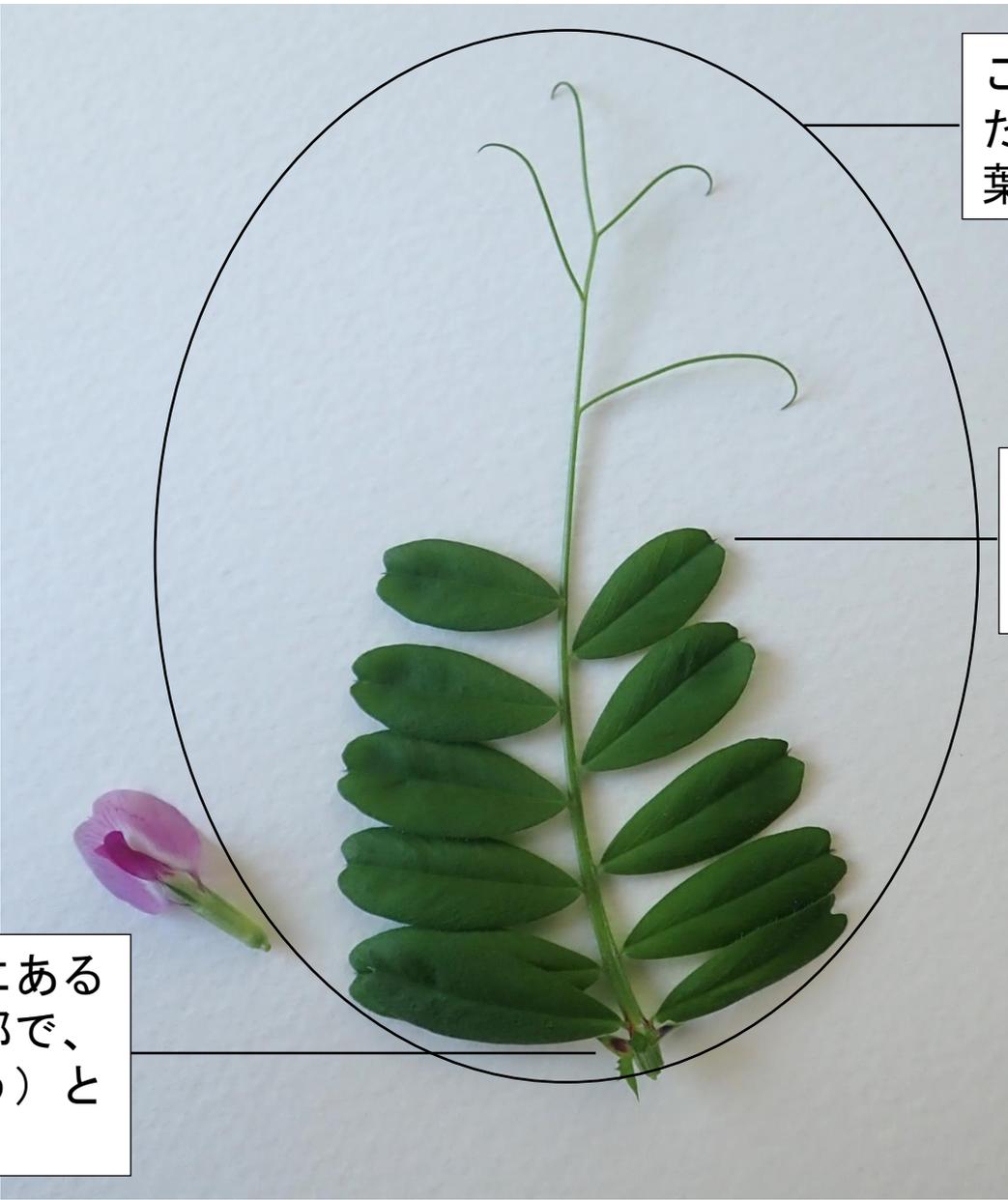
## <この観察の特徴>

- ・カラスノエンドウは多くの場所に生育している。
- ・カラスノエンドウの花の色や形は特徴的なため、同定が容易である。
- ・カラスノエンドウの茎や葉の上を、アリが這っている場合が多い。
- ・植物が蜜を出す場所が花の他にもあることを、驚きをもって観察し学ぶことが期待できる。



[カラスノエンドウとアリの関わりについて動画\(3分17秒\)で見てみよう](#)

カラスノエンドウの葉の形は、次のとおりです



この楕円で囲まれた部分が、一枚の葉です

この小さな葉は、小葉（しょうよう）と呼ばれます

この葉の基部にある部分も葉の一部で、托葉（たくよう）と呼ばれます



托葉（たくよう）を、葉の表側と裏側から見てみました



托葉（たくよう）に、液体のようなものが見られます



その液体のようなものを、筆ですくってみます



筆ですくい取れました。液体です。



筆先をなめてみました

甘い！



カラスエンドウは、托葉（たくよう）から蜜を出しています。  
その蜜をなめにアリがやって来ます。



### ＜本観察への期待＞

- ・ 楽しく観察してもらえること。
- ・ 観察したなかから「不思議」を感じ、「なぜ」を思い・考え・調べること。

例えば、

「アリが蜜をなめに来ることは、カラスノエンドウにとって何か利益があるのだろうか？」

「カラスノエンドウには、アリの他にどのような昆虫が来るのだろうか？」

「カラスノエンドウ以外でも、葉から蜜を出す植物はあるのだろうか？」